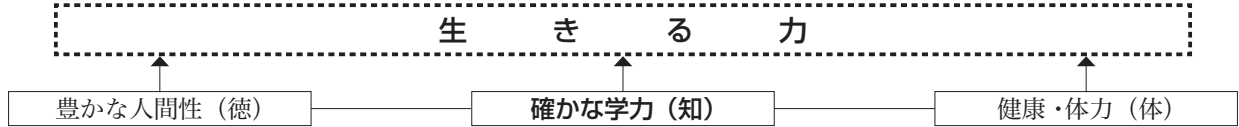


平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

奥尻町教育委員会では、学校の設置管理者としての説明責任を果たし、今後の施策の改善につなげていくことが大切であることから、上記標題の調査（平成31年4月18日実施）について、その結果を公表することとしました。

新しい学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指しています。



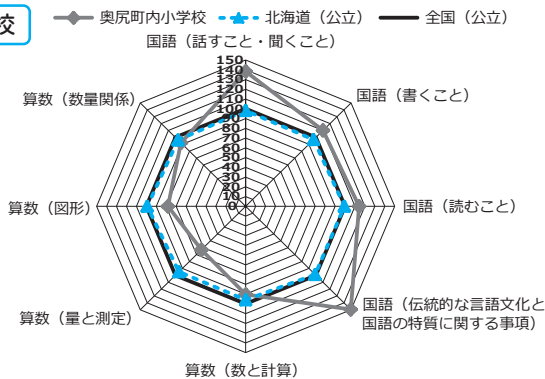
- * 「生きる力」を、「知・徳・体」のバランスのとれた力としてとらえ、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切です。
- * 教育委員会や学校では、今日求められる学力を、知識・技能はもとより、思考力や判断力、表現力、学ぶ意欲などを含めた学力ととらえています。
- * 今回の調査結果は、こうした学力の特定の一部の結果であることに留意してください。

奥尻町内小中学校の状況及び学力向上策（学校数：小学校1校：5名、中学校1校：9名）

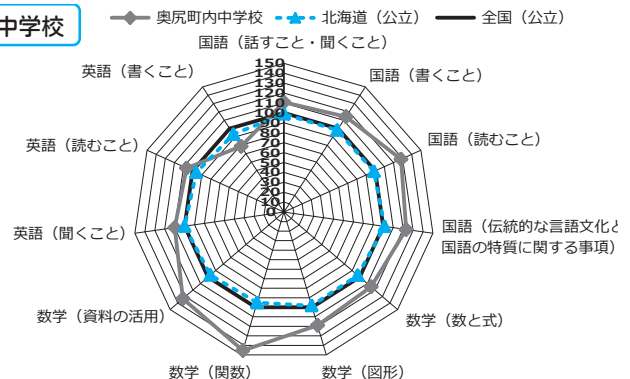
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び奥尻町の状況をレーダーチャートで示したものを（町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

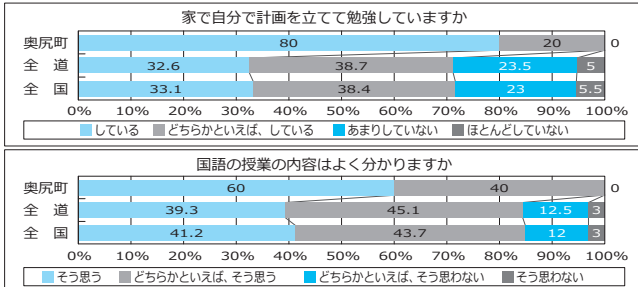
小学校



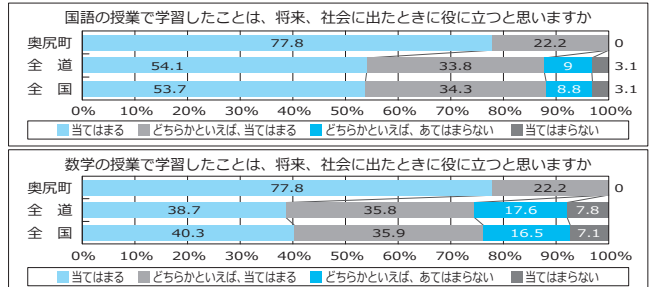
中学校



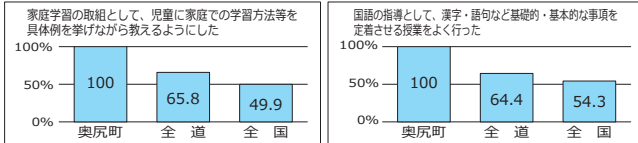
【児童質問紙調査】



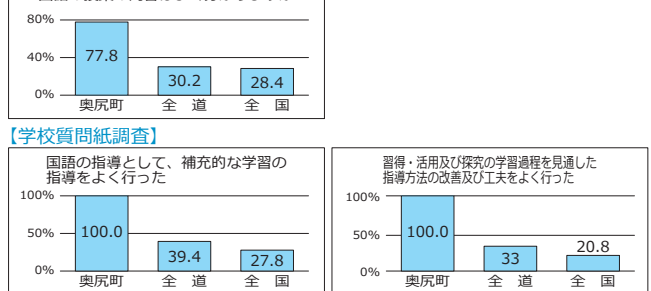
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科
 ○国語では、全ての領域で全国を上回っている。
 ○算数では、「数量関係」で全国に最も近くなっている。

児童質問紙
 ○「家で、計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
 ○「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。

学校質問紙
 ○家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした。
 ○国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。

（まとめ）
 ○学校が、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした結果、家で計画を立てて勉強する児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
 ○学校が、国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った結果、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【分析】

教科
 ○国語では、全ての領域で全国を上回っている。
 ○数学では、全ての領域で全国を上回っている。
 ○英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。

生徒質問紙
 ○「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
 ○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う生徒の割合が、全国を上回っている。
 ○数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う生徒の割合が、全国を上回っている。

学校質問紙
 ○国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。
 ○習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。

（まとめ）
 ○学校が、国語の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
 ○習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った結果、国語及び数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【奥尻町の学力向上策】

- ◎家庭学習の充実と放課後学習の実施や、授業改善の取組の推進
- ◎外国語指導助手の配置による英語教育の充実
- ◎ICTを活用した教育促進事業の実施
- ◎地域全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進